

環境報告書 2021



－地球にも人にも優しい環境企業を目指して－



トヨタ自動車北海道株式会社

目次

ページ

1. 社長挨拶	2
2. 方針・プラン	3
3. 環境保全推進計画と実績	4
4. 環境活動	5
5. 省エネルギー	7
6. 省資源	8
7. 環境会計/環境測定	9
8. 会社概況	 10

トヨタ自動車北海道は

北海道 『北海道環境宣言』に賛同しています。

北海道 『北海道グリーンビズ認定制度』において、
「優良な取組み」部門ランク3に登録されています。

（環境マネジメントシステムの認証取得）

「創意あふれる取組み」部門3分野で認定されています。

（地球を守る心・もったいない心・自然と共生する心）

「先進的な取組み」部門 CO2削減分野で認定されています。

苫小牧市『エコオフィス宣言』を実践しています。

上記の活動を通して、SDGsの目標達成に貢献します。

SDGsへの貢献



1.社長挨拶

【環境への思い・取組み】



2021年6月
トヨタ自動車北海道株式会社
取締役社長 北條 康夫

平素より、当社の環境活動に対し、多大なご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

今日、自動車業界は100年に1度の大変革期を迎えていると言われており、当社でもその変化に対応すべく、今年度は新たに以下の項目に取り組んでいます。

- ◆世界的に関心が高まる持続可能な開発目標（SDGs）達成にむけて、2021年4月に環境方針を改訂し、従業員一人ひとりが積極的に取り組むことを明確化。
- ◆カーボンニュートラルに取り組む新組織を立上げ、将来の工場CO₂実質ゼロに向けたシナリオの策定とその実現に向けた活動の推進。

この環境報告書は、2020年度に実施した環境保全活動をまとめたものです。
当社の活動を少しでも理解いただけると幸いです。

今後も持続可能な社会の実現に向け活動を進めてまいります。皆様からの忌憚の無いご意見をお待ちしております。

2.方針・プラン

■トヨタ自動車北海道環境方針

※2021年4月改訂 下線部変更箇所

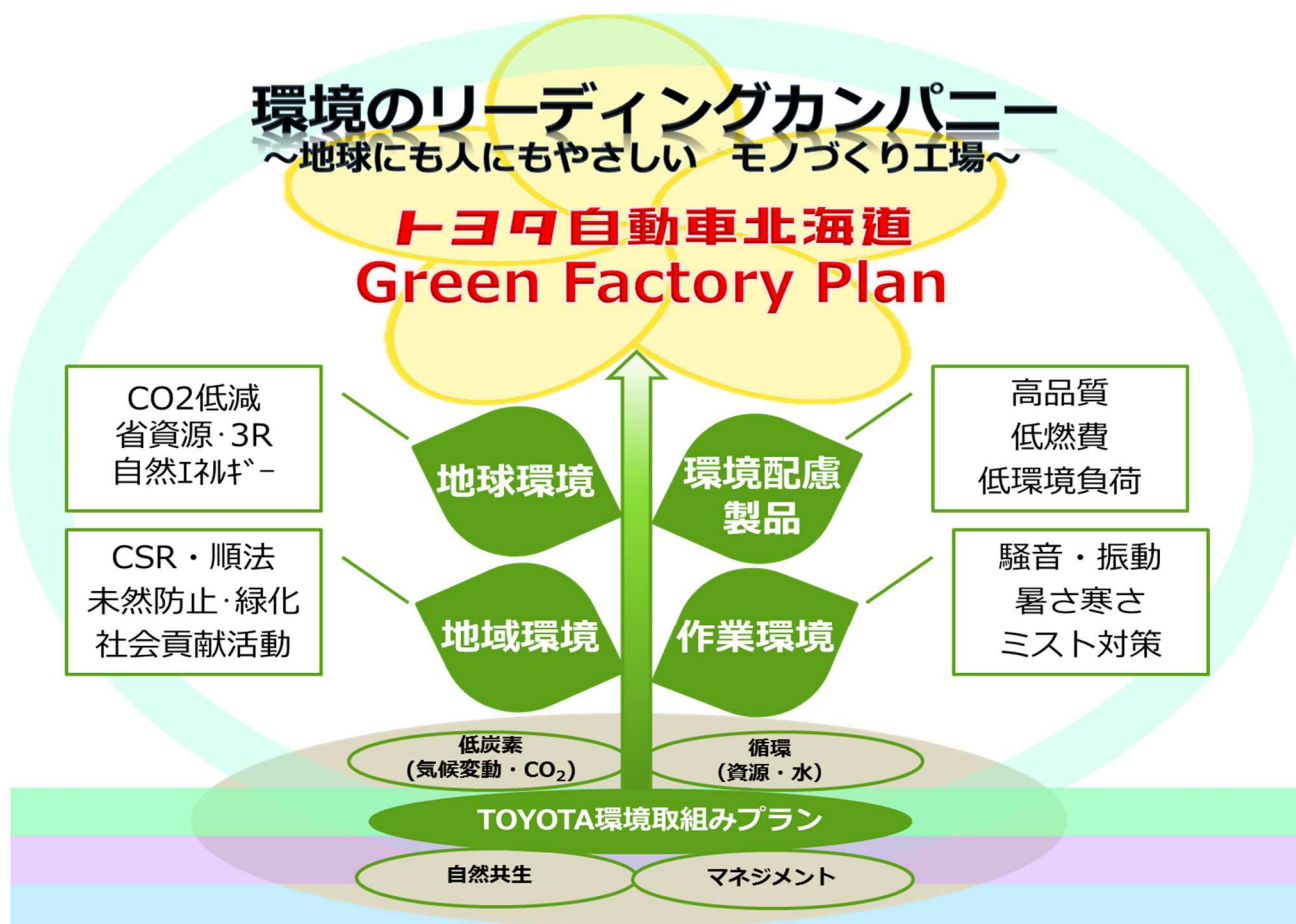
『地球にやさしい企業』として、一人ひとりが自覚と責任を持ち、
環境保全活動に積極的に取り組み、SDGs（持続可能な開発目標）
の目標・ターゲット達成に貢献します。

1. 地域社会とのコミュニケーションを大切に、北海道の豊かな自然との共生と
生物多様性を保つための活動を積極的に推進します。
2. 環境法令や協定、基準の遵守はもとより、地球環境の汚染予防及び継続的
な改善を行い、地域のリーディングカンパニーを目指します。
3. 環境影響を最小化するために、目的・目標を定め積極的に取り組みます。
① **工場CO2ゼロを目指し、日常改善・技術革新・再生可能エネルギー利用を推進します。**
② ゼロエミッションを維持し、循環型社会の形成を推進します。
③ 生産活動の環境影響を評価し、環境負荷物質を低減します。



■方針と活動のつながり

オールトヨタの一員として「環境のリーディングカンパニー」を目指し、
プランを立て、環境保全活動に取り組んでいます。



3.環境保全推進計画と実績

■推進計画と実績

・毎年 重点実施項目、目標を設定し活動を推進しています。

2020年度 重点実施項目

項目	実施事項	結果	
1.環境リスク低減	1)環境 異常・苦情ゼロの継続 ①オールドヨタの環境異常横展項目の着実な実行 ②老朽設備、高リスク設備の点検項目/頻度追加	○	①横展事項100%実施 ②計画内容100%実施
2.CO ₂ 低減	1)再生エネルギーの導入 ①太陽光発電の確実な立上げ準備	○	①計画通り3月に運転開始
	2)省エネアイテムの積上げ/実行 ②CO ₂ ゼロチャレンジアイテム積上げ及び実行計画立案 ③20年度ゼロチャレアイテムの確実な実行	○	②削減シナリオ策定、 次年度実行アイテム予算化 ③コンプレッサーの廃熱利用他 計画内容100%実施
3.資源循環	1)廃棄物の発生量低減 ①設備導入/切替時の廃棄物管理強化 ②廃液濃縮装置の安定稼働による廃棄物低減	○	①事前検討100%実施 ②廃棄物前年比▲30%

2020年度 環境目標/実績

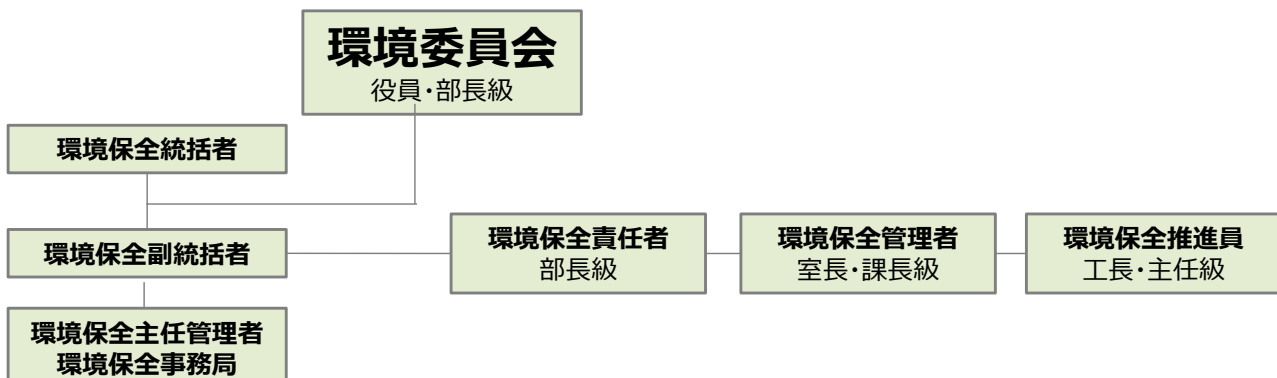
項目		目標	実績		目標比	備考
環境リスク		ゼロ	ゼロ	○	－	－
エネルギー	生産	45.00	43.50	○	97%	原単位 [kg-CO ₂ /台]
	物流 [※]	5.266	5.417	×	103%	原単位[t-CO ₂ /台]
廃棄物		0.420	0.341	○	81%	原単位[kg/台]

※物流原単位増加要因

- ・新型コロナの影響で出荷台数減 ⇒ 荷物の積載効率低下
- ・製品構成の変動 ⇒ 重い製品の割合が増加

■推進体制

・環境マネジメントシステム（EMS）に基づく推進体制

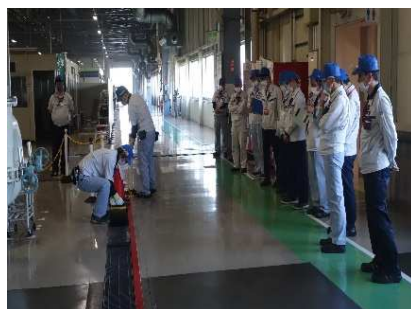


4.環境活動

■環境活動年間行事実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
環境会議体	●環境委員会			●環境委員会			●環境委員会			●環境委員会		
ISO14001	①●ISO内部監査					②●ISO外部審査						
特別活動	③●環境月間					⑨●省エネ月間						
その他	④●環境教育		⑥●環境教育				⑧●環境教育					
	⑤●環境教育				⑦●環境教育							

①ISO内部監査：リスクおよび機会の整合性と緊急事態に関する準備対応を重点に進めました。



②ISO外部審査：EMSが正しく運用されているのかを審査して頂き問題がない事を確認しました。



SDGsへの貢献



③環境月間：知識・意識の向上、啓発活動を実施しました。

2020年「TMH地球環境月間」			
I. 活動概要			
・目的：地球月間を機に各社員の環境意識向上及びトヨタ環境チャレンジ2050の更なる浸透 ・グローバルな活動と連携を推進 ・未来のために「やりましょう、トヨタ環境チャレンジ2050」(目標) ・期間：2020年6月1日(月)～6月30日(木)			
II. 実施項目			
1. グローバルトヨタ協賛活動			
1) 環境意識向上	① TMH環境月間ポスター掲示	・ポスター掲示	6/1～6/30 全社
2) 環境意識向上	・ポスター掲示	・ポスター掲示	6/1～6/30 全社
2. TMH協賛活動			
3) 廃棄物・リサイクル	① 廃棄物削減活動	・廃棄物削減活動	6/1～6/30 全社
4) 行事・実証	① 環境月間イベント	・環境月間イベント	6/1～6/30 全社
	② ISO14001	・ISO14001	6/1～6/30 全社
	③ 環境月間ポスター掲示	・環境月間ポスター掲示	6/1～6/30 全社

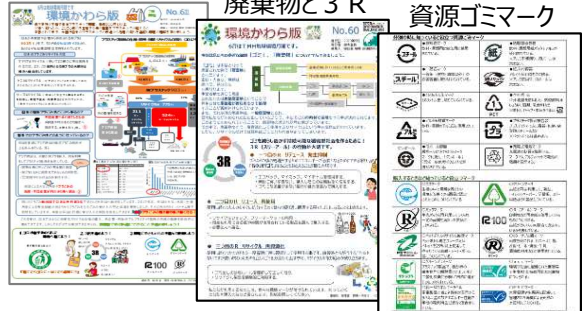
2020年『TMH地球環境月間』

活動内容

- ・グローバルトヨタ協賛活動
- 1.トヨタ社長のメッセージ
- 2.クールビズ推進

- ・個別活動
- 3.環境かわら版+eラーニングによる廃プラ削減啓発活動
- 4.環境パトロールの実施

環境かわら版+ eラーニングによる啓発
プラスチック問題 廃棄物と3 R 資源ゴミマーク



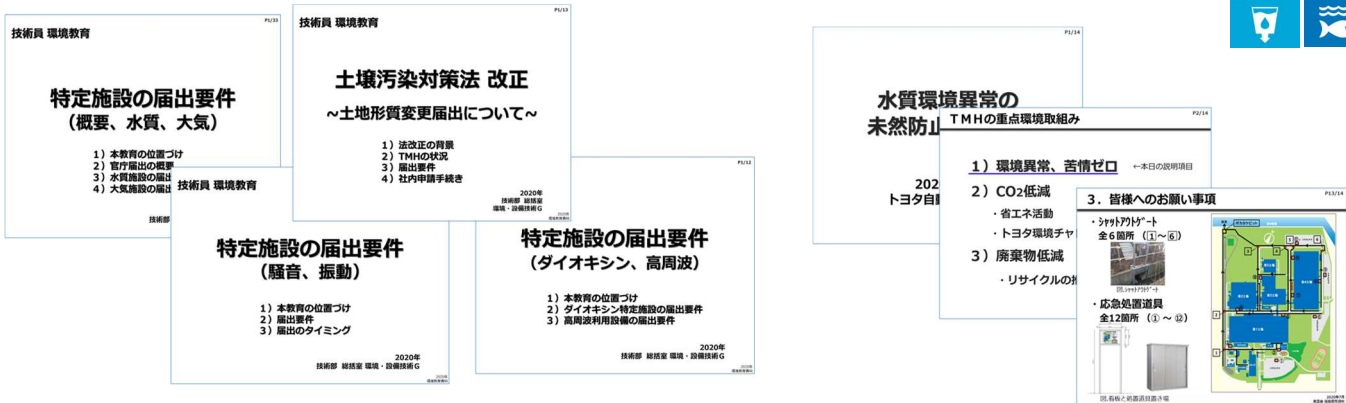
各職場・工場周辺の環境パトロール実施：設備運転状況、4 S、車両油漏れ点検などを実施。



4.環境活動

④～⑧環境教育：技術部門スタッフへの環境法令教育と仕入先様への水質異常対応教育の実施

SDGsへの貢献



⑨省エネ月間：将来の『生産CO2ゼロ』に向けた活動を確実に進めていくために、省エネに対する意識及び知識の向上に全員で取り組みました。

SDGsへの貢献



2021年 省エネ月間

活動内容

1. 省エネバッジ着用による意識づけ。
2. 環境かわら版+ e ラーニング
3. 省エネ改善発表会
4. 太陽光発電装置見学

1. バッチの着用



管理者・スタッフが率先してバッジを着用して省エネ行動をとる意思を示しました。

2. 環境かわら版+ e ラーニング



3. 省エネ改善発表会

各職場代表で省エネ改善事例発表会を行いました。



- ・コロナ禍での省エネ型ライフスタイル
- ・SDGsの理解と私たちにできること

4. 省エネ見学会

2020年3月より立ち上がる太陽光発電設備の概要説明をデジタルサイネージを活用して全従業員に行いました。

SDGsへの貢献



太陽光パネル5,920枚
出力：1,990kW
発電量：2,750,000kwh/年



約370世帯分の
電力を発電



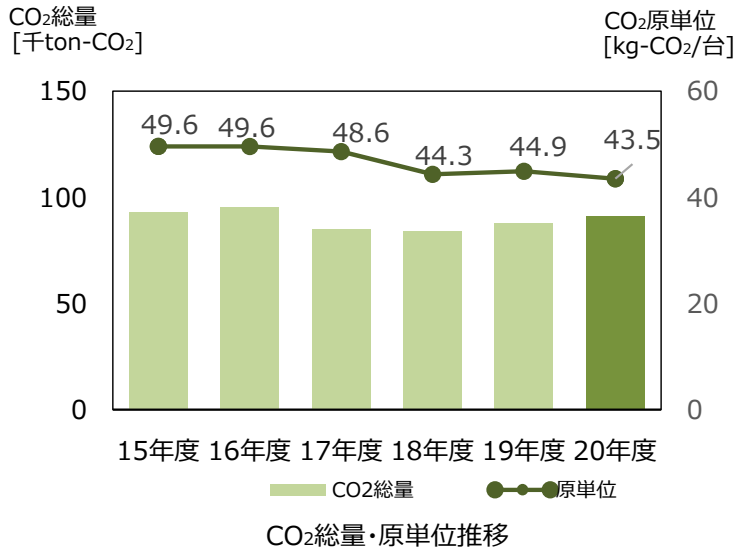
5.省エネルギー

■省エネルギー

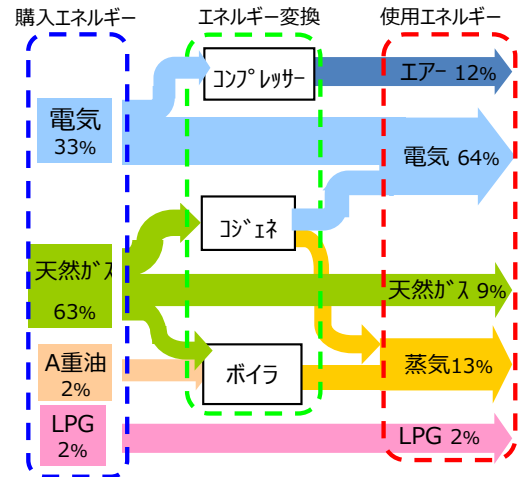
・CO2発生量

地道な省エネ改善と技術革新で、SDGsの 7.3（エネルギー効率改善）、13.1（CO2削減）の達成に貢献しています。

SDGsへの貢献

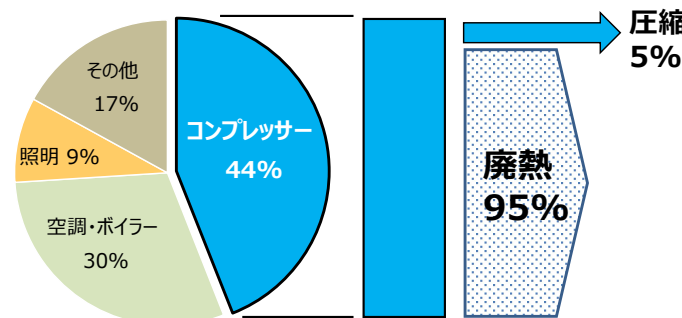


参考）エネルギー割合/フロー



・改善事例：コンプレッサー廃熱利用によるCO2削減。

熱回収ターボ冷凍機を導入し、捨てている熱（廃熱）を回収し再利用することでCO2を低減しました



コンプレッサーで使用するエネルギーの95%は廃熱として捨てている。

【改善前】

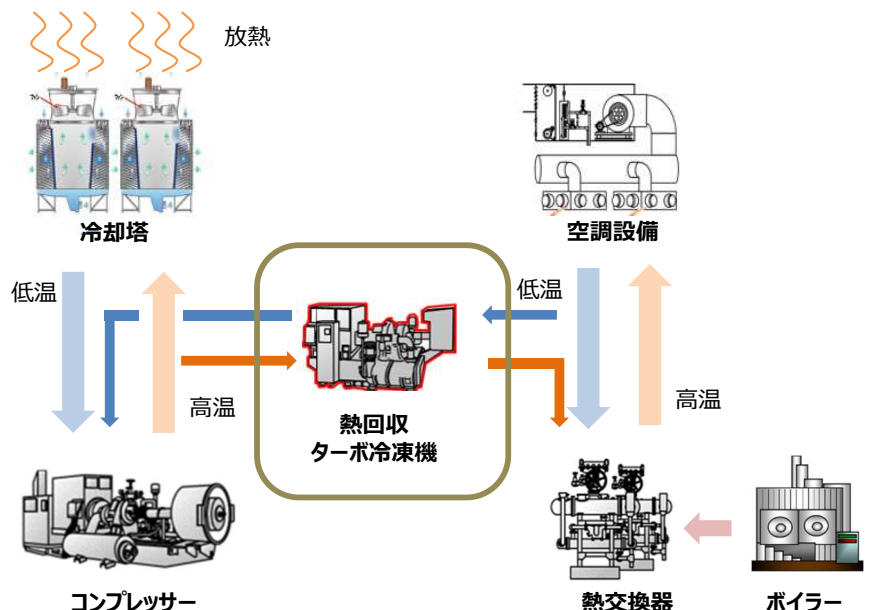
- ・コンプレッサーの廃熱を冷却塔で放熱
⇒電気を 사용하여熱を捨てている。
- ・ボイラーの蒸気で加熱した温水を循環して工場空調に使用
⇒燃料を使用し工場を温めている。

【改善後】

- ・熱回収ターボ冷凍機（ヒートポンプ）で、コンプレッサー廃熱を空調温水の加熱に使用

※ヒートポンプ

エアコンや冷蔵庫のように冷たいところから暖かいところへ熱をくみ上げる装置



CO2削減効果

▲1,377 t-CO2/年

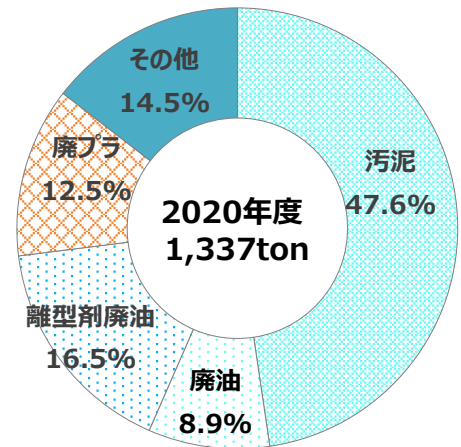
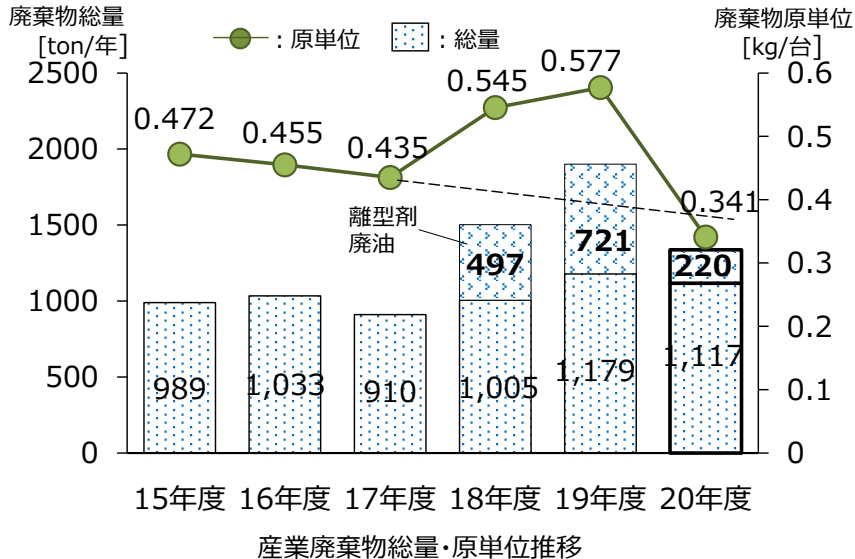
6. 省資源

■ 省資源

・廃棄物発生量

2018年に新設した鍛造ラインの離型剤廃油を濃縮処理することで廃棄物量を大幅削減、SDGsの12.5（廃棄物の削減）の達成に貢献しています。

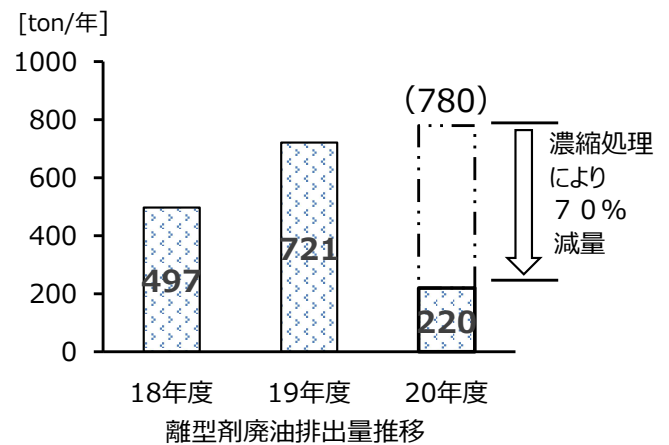
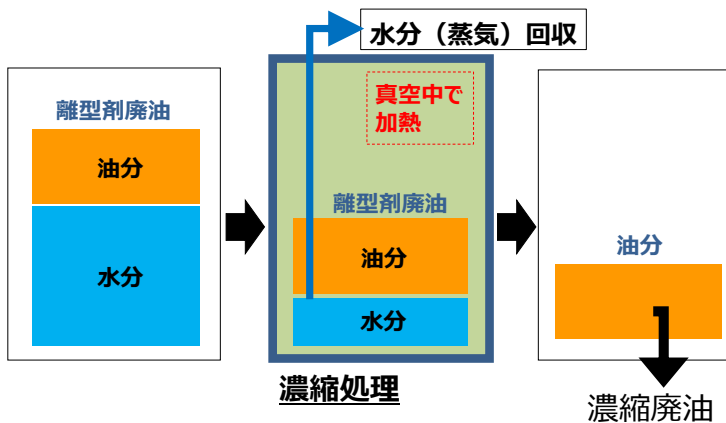
SDGsへの貢献



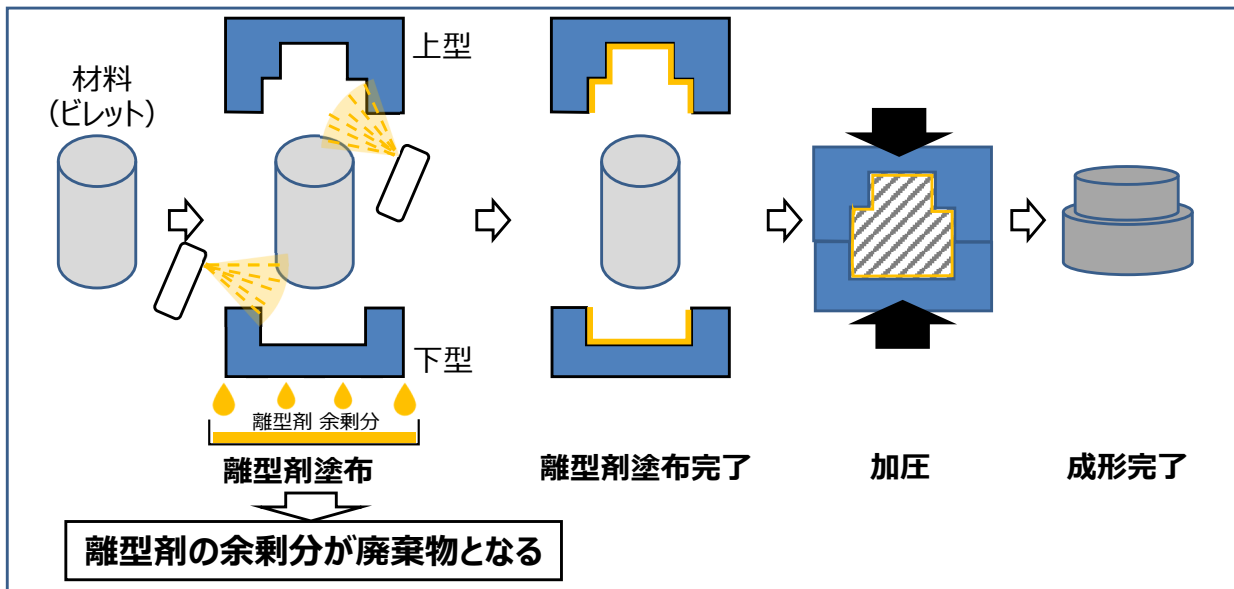
廃棄物排出量内訳

・離型剤廃油の濃縮処理

2020年4月より、離型剤廃油を加熱・蒸留し水分を除去する装置を導入・運用。離型剤廃油の排出量低減を行なっている。



● 離型剤とは型と材料が貼り付かないように塗布するコーティング材



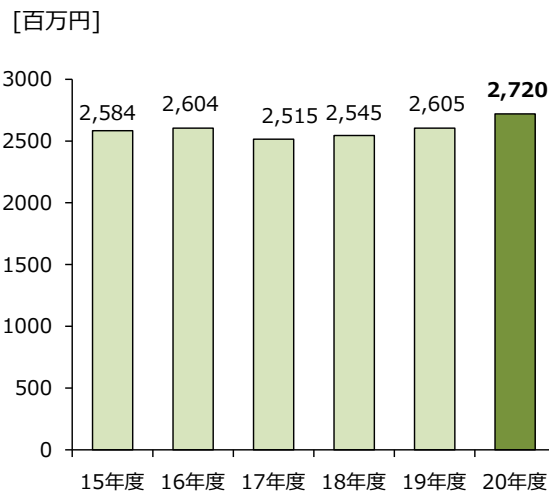
7.環境会計/環境測定

■環境会計

・環境保全コスト

環境省の環境会計ガイドラインに基づいて、環境費用を把握しています。

分類			費用（百万円）		20年度活動内容
			19年度	20年度	
1	事業エリア内コスト	公害防止	72	73	排水処理、環境分析
		地球環境保全	2,414	2,545	CO ₂ の運輸費用、 全社省エネ活動
		資源循環	75	56	産廃処理、浄化槽維持
2	上・下流コスト	—	—	—	該当無し
3	管理活動コスト	環境マネジメントシステム	25	27	ISO14001認証継続
4	研究開発コスト	リサイクル検討	2	2	廃棄物売却化検討
5	社会活動コスト	社会貢献、緑化、 美化	17	17	工場内緑化、図書寄贈 など
6	環境損傷コスト	—	—	—	環境汚染などの修復無
合計			2,605	2,720	



■環境測定

・水 質

徹底的な排水管理で、水環境へのインパクトを最小化します。

項目	※1	水濁法 基準値	協定 基準値	測定値 最大	単位
化学的酸素要求量 COD		160 (120)	25 (20)	16.5	mg/L
浮遊物質 SS		200 (150)	25 (20)	4	mg/L
水素イオン濃度（pH）		5.0～9.0	6.0～8.0	6.6～7.8	—
油分（鉱物油）		5	4	0	mg/L
大腸菌		3,000	—	42	個/mL
亜鉛		2	—	0.32	mg/L
マンガン		10	—	0.1	mg/L

※1）その他の項目は検出下限以下の為記載せず

() 内は日平均

放流水は基準を順守するため、自社による測定の他に
環境計量証明事業者で定期的に測定しています。
また、緊急を想定した訓練を実施しています。



自社による測定の様子



緊急訓練の様子

SDGsへの貢献



・大 気

細心の運転管理で、大気汚染を未然防止します。

項目		大防法 基準値	測定値 最大	単位
NOx	炉筒煙管ボイラ	150	100	ppm
	小型貫流ボイラ	150	35	
	ガスエンジン	600	190	
	ガスタービン	70	68	
	ガス浸炭炉	180	130	
	アルミ溶解炉	180	120	
ばいじん	炉筒煙管ボイラ	0.25	0.0099	g/m ³ _N
	小型貫流ボイラ	0.10	0.0146	
	ガスエンジン	0.05	0.0027	
	ガスタービン	0.05	0.0015	
	ガス浸炭炉	0.20	0.0078	
	アルミ溶解炉	0.20	0.005	
SOx	炉筒煙管ボイラ	6.42	0.46	K値
	小型貫流ボイラ		0.0023	
	ガスエンジン		0	
	ガスタービン		0.017	
	ガス浸炭炉		0.055	
	アルミ溶解炉		0.046	

排ガス測定は、年2回（法令に基づく頻度）

環境計量証明事業者で実施しています。

また、設備や測定機器の状態を定期的に確認し、
正常な運転ができる状態を確保しています。



排ガス分析計確認の様子



ガスタービン点検の様子

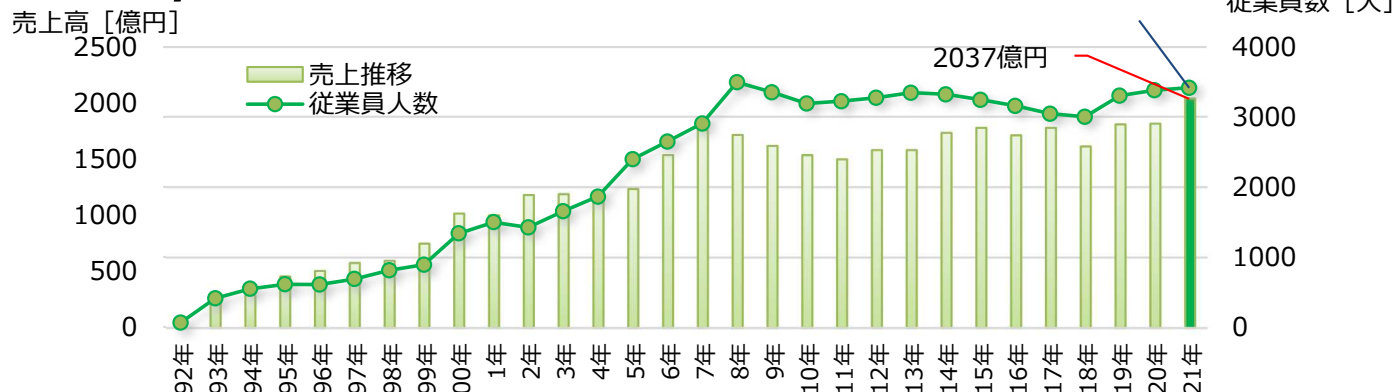
8.会社概況

■会社概況

設立：1991年2月8日
 資本金：275億円
 株主：トヨタ自動車株式会社の100%出資
 事業内容：自動車部品の製造
 ・トランスミッション
 ・トランスファー
 ・ハイブリッドトランスアクスル
 ・鍛造部品

売上高：2,037億円（2021年3月期）
 用地面積：103万m²（約31万坪）
 従業員：3,418人（2021年3月1日）

■売上高/従業員数



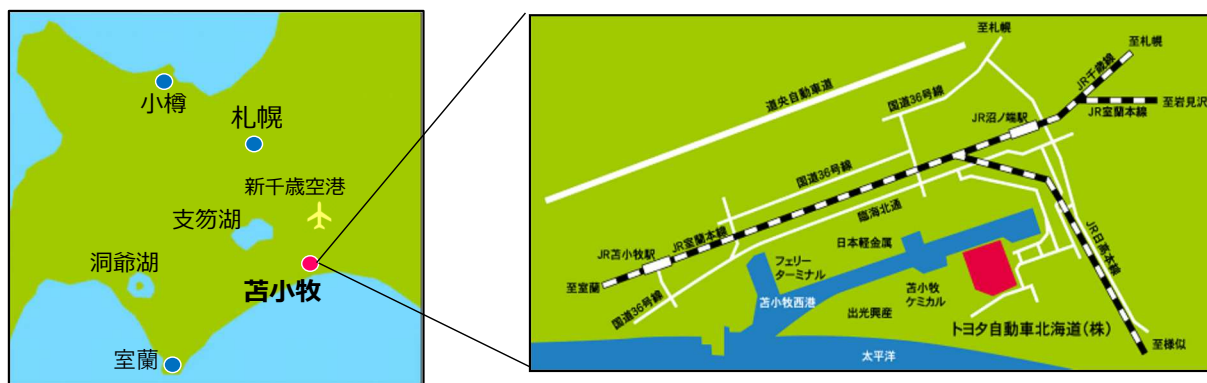
■工場レイアウト

- 1 第1工場（ユニット加工・組付）
- 2 第2工場（鍛造）
- 3 第3工場（プレス・ダイキャスト）
- 4 第4工場（ユニット加工・組付）
- 5 第5工場（鍛造）
- 6 本館
- 7 2号館
- 8 原動力棟
- 9 信頼性試験棟
- 10 浄水場
- 11 保安センター
- 12 はすかっぱホール
- 13 トヨタの森
- 14 モノづくり技術センター
- 15 自然林
- 16 はまなすテラス（食堂）
- 17 太陽光発電



■所在地

〒059-1393 北海道苫小牧市字勇払145番1





環境報告書 2021

－地球にも人にも優しい環境企業を目指して－

環境報告書は、当社ホームページに掲載しています。

<http://www.tmh.co.jp/>

トヨタ自動車北海道株式会社



TOYOTA MOTOR
HOKKAIDO, INC

発行日：2021年6月

発行元：トヨタ自動車北海道株式会社
北海道苫小牧市字勇払145番1

お問合せ：総務室 TEL 0144-57-2121

担当部署：技術部 総括室 環境・設備技術G